

「川西町こども計画」策定のための調査結果（概要）

◆調査期間 小3・小5・中2：令和6年11月25日～12月6日
16～39歳：令和6年11月22日～12月9日

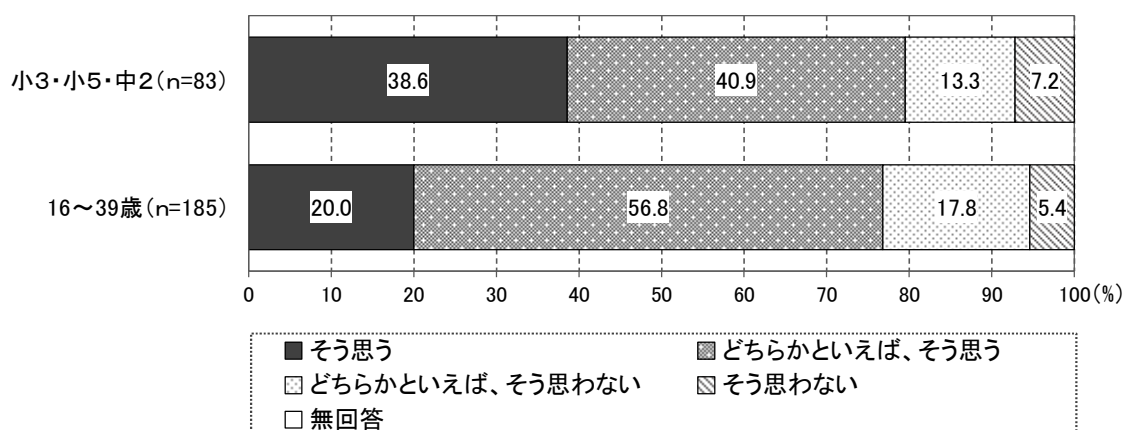
対象	配布数	回収数	回収率
小3・小5・中2	208 票	83 票	39.9%
16～39 歳	1,000 票	185 票	18.5%

1. 主な調査結果

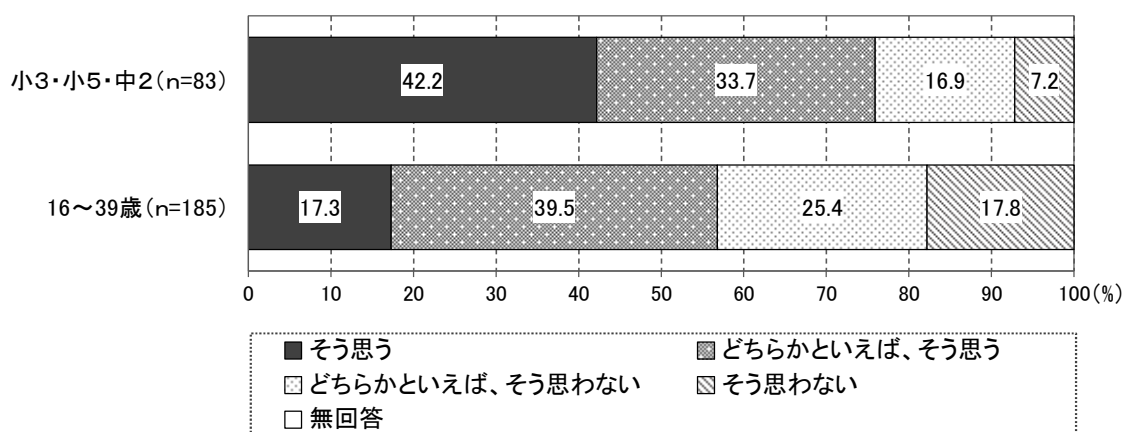
（1）自分自身に関する意識について

小3・小5・中2と比べて、16～39歳では「そう思う」（自分への肯定的な意識）の割合が低くなっています。

問1－1：うまくいくかわからないことにも、努力して取り組める



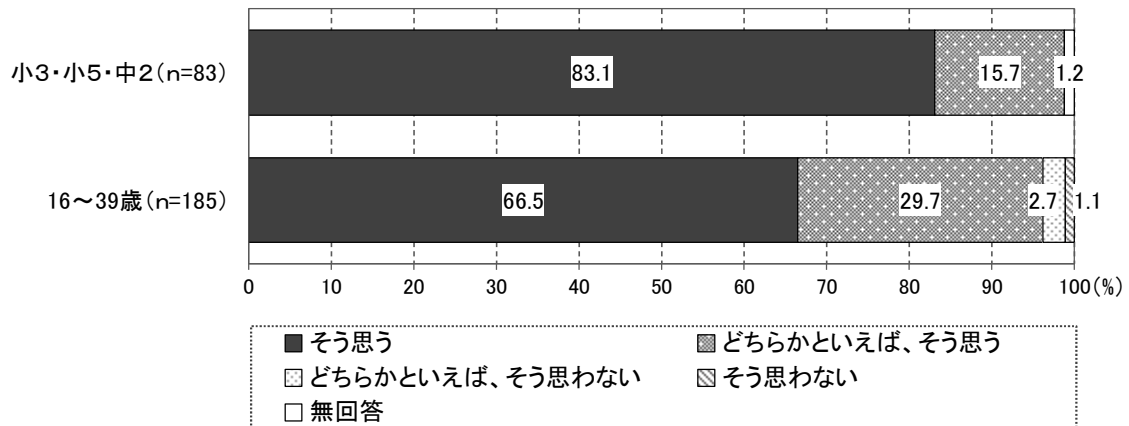
問1－2：自分自身に満足している



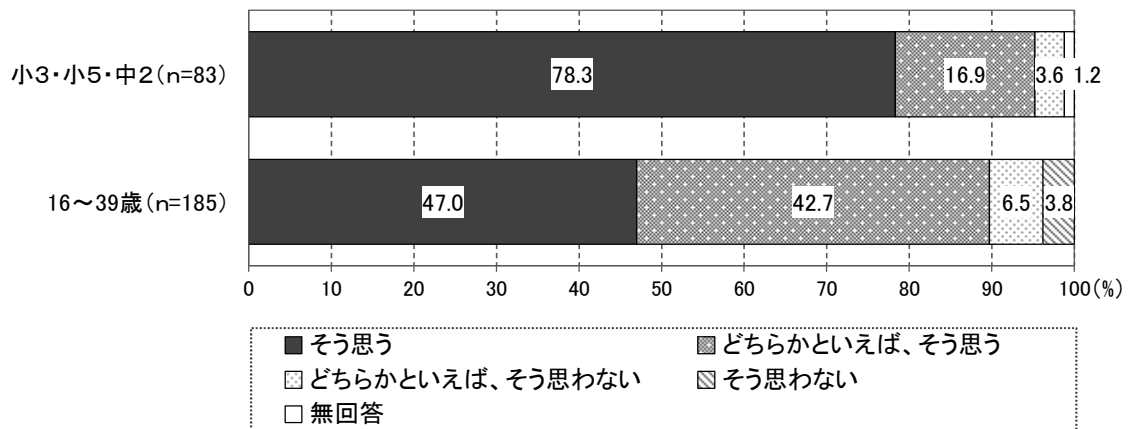
(2) 家族や親せきとのかかわりについて

小3・小5・中2と比べて、16～39歳では「そう思う」（家族や親せきとのかかわりの意識）の割合が低くなっています。

問2－1：家族や親せきはこまった時は助けてくれる



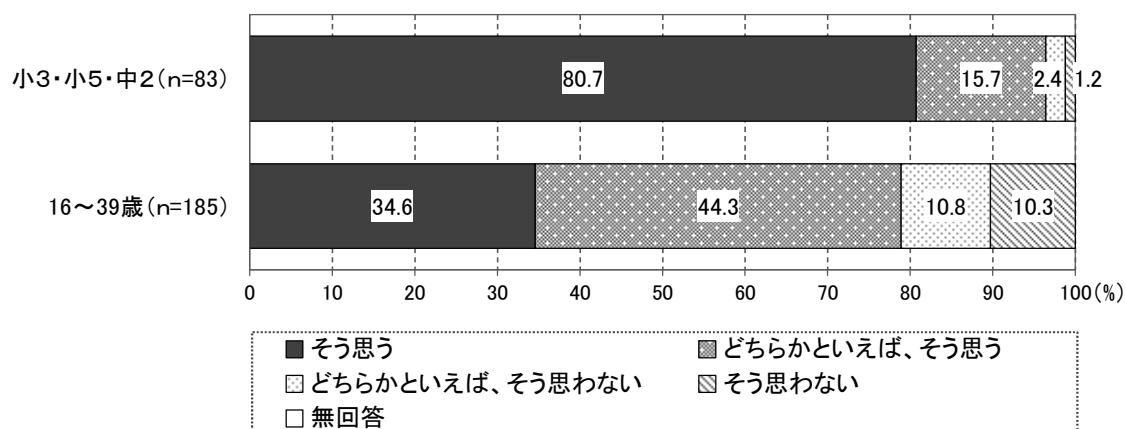
問2－2：家族や親せきといつもつながりを感じている



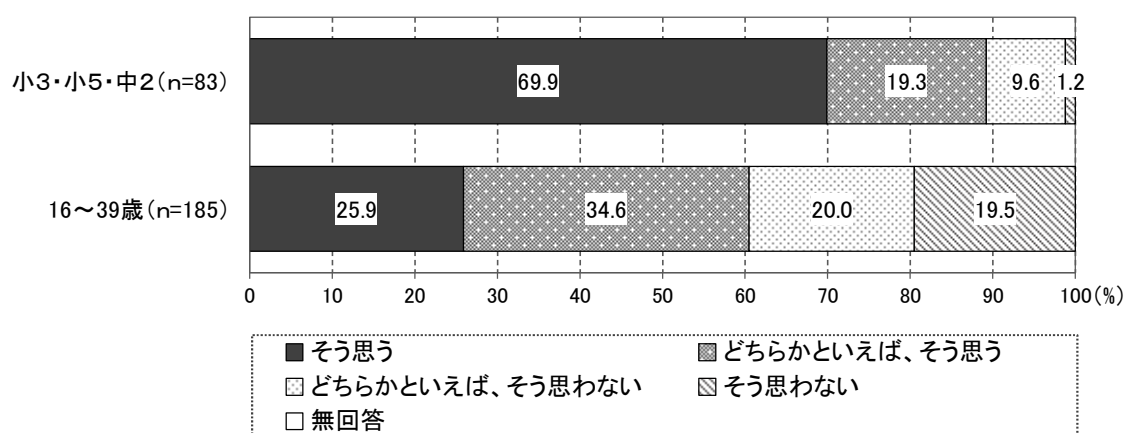
(3) 学校の友人（かつての同窓生含む）とのかかわりについて

小3・小5・中2と比べて、16～39歳では「そう思う」（学校の友人（かつての同窓生含む）とのかかわりの意識）の割合が低くなっています。

問3－1：学校の友人（かつての同窓生含む）はこまった時は助けてくれる



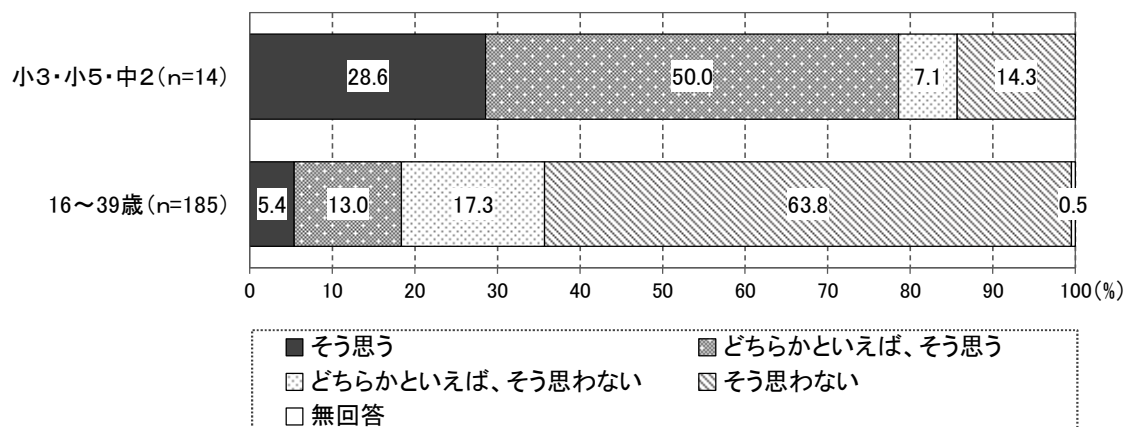
問3－2：学校の友人（かつての同窓生含む）といつもつながりを感じている



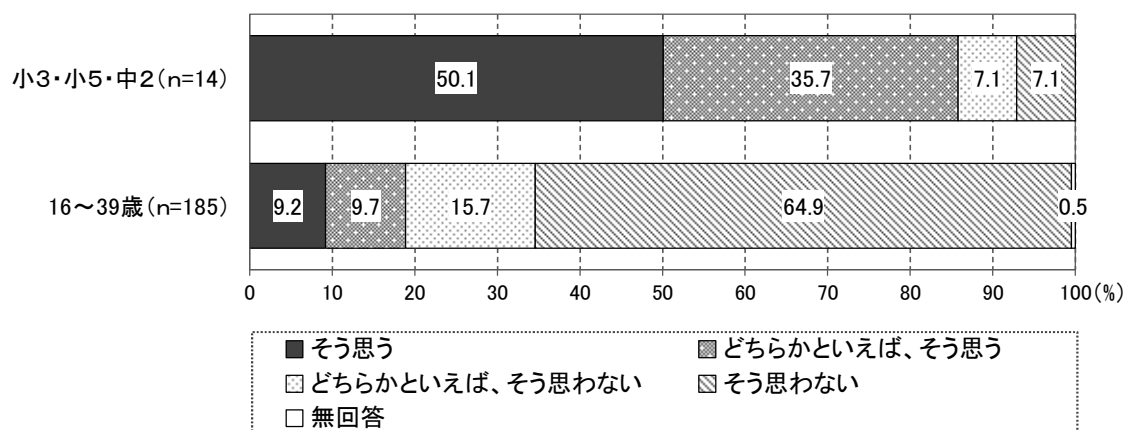
(4) インターネット上における人やグループとのかかわりについて

小3・小5・中2と比べて、16～39歳では「そう思う」（インターネット上における人やグループとのかかわりの意識）の割合が低くなっています。

問4－1：インターネット上における人やグループはこまった時は助けてくれる



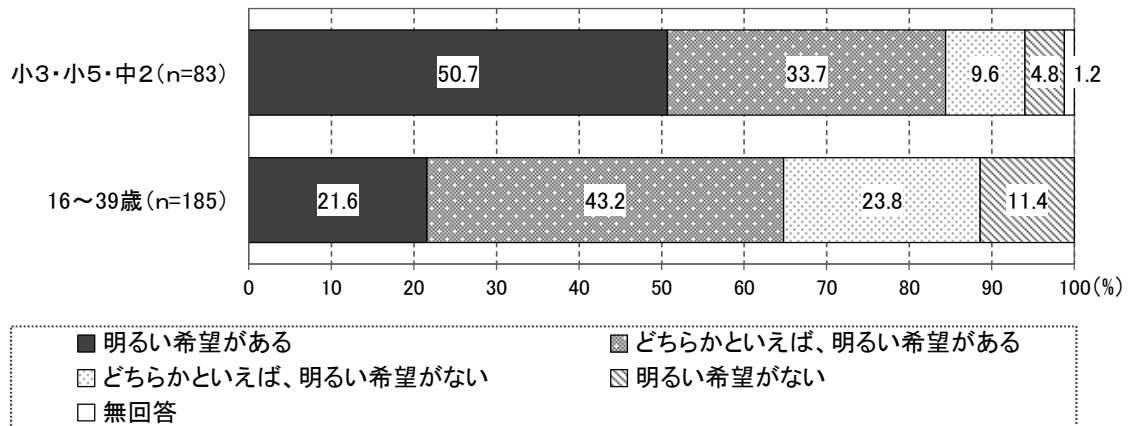
問4－2：インターネット上における人やグループといつもつながりを感じている



（５）将来への希望について

小３・小５・中２と比べて、１６～３９歳では「明るい希望がある」（将来への希望の意識）の割合が低くなっています。

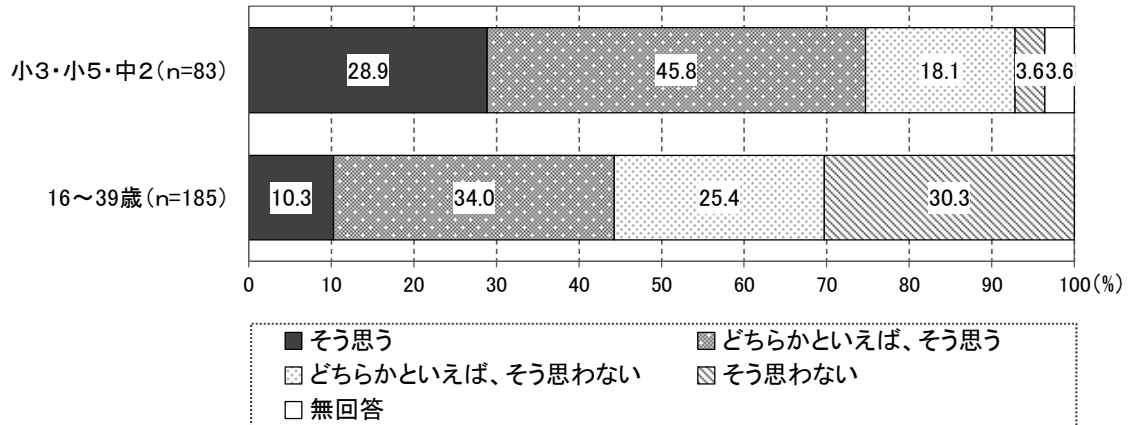
問５－１：自分の将来について明るい希望を持っているか



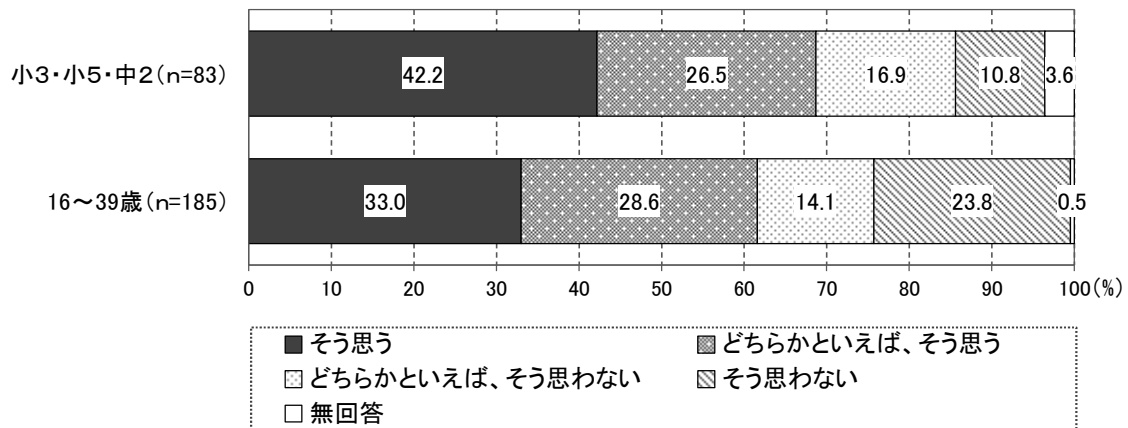
(6) 将来の自分について

小3・小5・中2と比べて、16～39歳では「そう思う」（将来の自分への肯定的な意識）の割合が低くなっています。

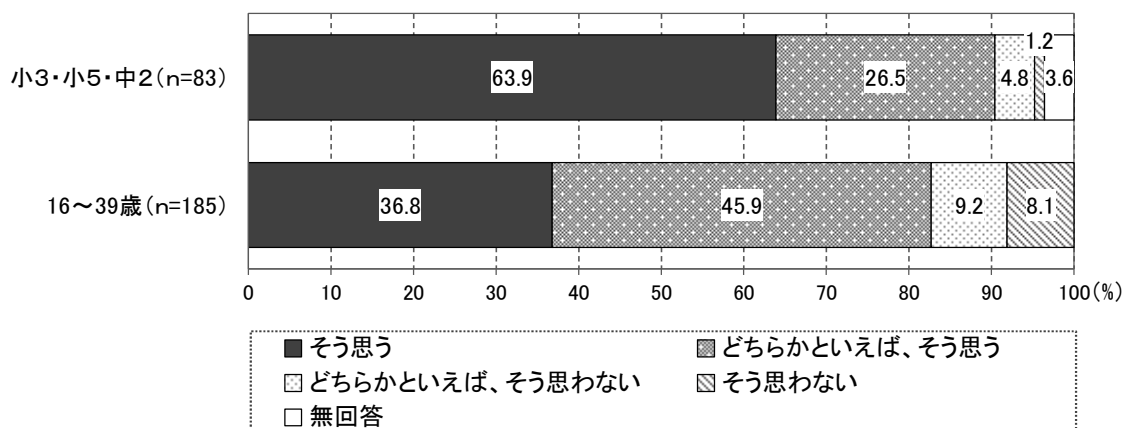
問6－1：将来の自分は多くの人の役に立っている



問6－2：将来の自分はこどもを育てている



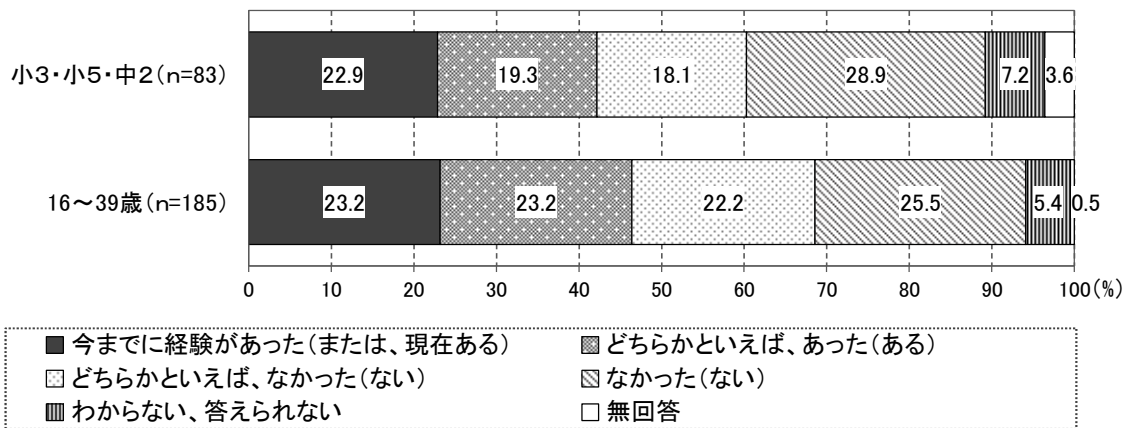
問6－3：将来の自分は幸せになっている



(7) 社会生活や日常生活を円滑に送れなかった（送れない） ことについて

「今までに経験があった（または、現在ある）」と「どちらかといえば、あった（ある）」を合わせた“あった（ある）”を見ると、小3・小5・中2と16～39歳のいずれも4割強の人が“あった（ある）”と回答しています。

問7－1：社会生活や日常生活を円滑に送れなかった（送れない） ことがあるか



(8) 自由記述

【小3・小5・中2】

川西町のこどもが体も心も元気に育つために、してほしいと思う支援やまちづくりのアイデアなど、自分が思うことを自由に書いてください。

◆自由記述のピックアップ◆

学校でしてほしいこと

- トイレを綺麗にしてほしい。
- 一人ひとりの悩みを解消してくれるよう、常に気にしておいてほしい。
- ペースをできるだけ合わせてほしい。
- 図書室の本を増やしてほしい。
- 休み時間にサッカーができるようにしてほしい。

地域でしてほしいこと

- 遊び場、ボール遊びができるところをつくってほしい。
- 地域で安心できるところを多くする。
- 子ども 110 番や見守り隊のほかに、ボランティア活動を増やしてほしい。
- もっとお祭りやイベントをしてほしい。
- 外灯を増やし、道を明るくしてほしい。

家庭でしてほしいこと

- より多くしゃべりたい、遊びたい。
- 学校の春休み、夏休み、冬休みのときだけ、学童に行きたくない。
- たくさんほめてほしい。
- 遊ぶ時間を増やしてほしい。
- もっとできるお手伝いを増やしてほしい。
- 趣味への理解。

【16～39 歳】

川西町のこども・若者支援の充実などについて、以下のそれぞれの点にご意見がございましたら、自由にご記入ください。

◆自由記述のピックアップ◆

町（行政）でしてほしいこと

- いつでも利用できる自習室がほしい。
- 現在大学生の私が一番不安や負担に感じるのは学費で、少しでも金銭的負担が減るような制度がほしい。
- 通学路の整備（傷んだ舗装、ラインの消えた道など）。
- 悩みを相談しやすい環境をつくる（すでにあるなら認知してもらえるようにする）。
- 母子家庭や共働きの家でも行動ができるよう、町内バスの運行を増やすなど。
- 子どもが外で遊べる環境づくり（公園、施設などの設置）。耳鼻科、眼科、整形外科など多種多様な医療施設の設置。
- 盛り上がるようなイベントなど。

学校等の教育機関でしてほしいこと

- 実践的な英語の使い方を若いうちから知りたかったので、教えてあげてほしい。
- 質の高い教員の確保及び待遇改善。
- 通学時間の見守り。
- 引きこもり支援、不登校支援。
- いじめ対策（主に加害者に対すること、被害者を保護すること）。
- 子どもたちに、認め合い、助け合って生きていくことを学んでもらいたい。
- インターネット、SNSなどを使用するときの注意喚起。

家庭や地域でしてほしいこと

- 外で遊ばせる。
- 祭りやイベントを安定して毎年行える活気。
- 共働きが増えてきているため、子どもを安全に預けることができる施設を増やす。
- こども食堂があったらいいと思う。

自分自身が、まちづくりのためにできることやしたいこと

- 地元行事の活性化。ボランティアへの参加。
- 定期的にフリーマーケットやマルシェを開いてほしい。
- 親子で参加できる奉仕活動。
- 町内で買い物をする。
- 町が開催する教室、イベントに参加する。
- 子どもの登校の見守り。